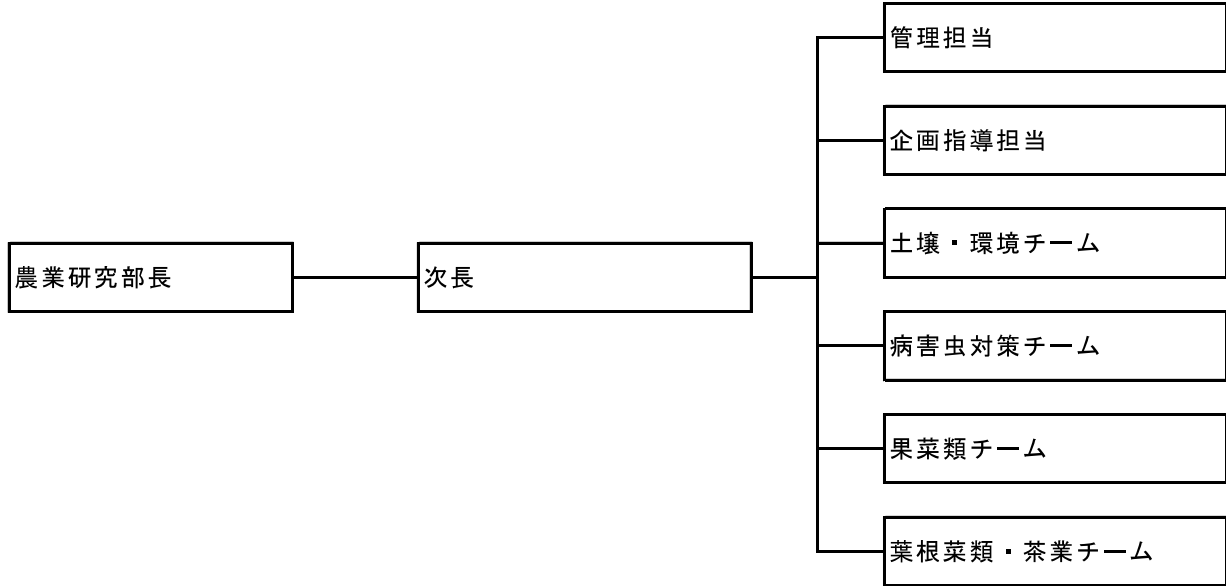


II 各研究部・グループの概要

II-1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和2年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部長	長		1					1	
次長	長	1						1	兼センター管理調整監
管理担当	担当	5						5	
企画指導担当	担当		7					7	広域普及指導員4名
土壌・環境チーム	チーム		7		1			8	
病害虫対策チーム	チーム		9			1		10	
果菜類チーム	チーム		10	3				13	農業技術員1名
葉根菜類・茶業チーム	チーム		6		1	1		8	
計		6	40	3	2	2	0	53	

（3）業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証する。地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

企画指導担当

- ①生産者に対する研修および現地指導
- ②試験研究の企画調整、進行管理
- ③研究成果のとりまとめ、研究員の育成

土壌・環境チーム

- ①農産物の安全安心や環境に優しい農業生産技術の研究
- ②未利用資源の農業活用技術に関すること
- ③農産物の栄養・機能性成分の調査、分析に関すること
- ④肥料取締り分析と農業試験検査事務に係る分析
- ⑤IoTなど新技術を活用した野菜類栽培の省力化技術の確立

病害虫対策チーム

- ①IPMに基づいた病害虫防除技術の開発、実証
- ②難防除病害虫、農薬耐性菌・抵抗性害虫対策の組み立て
- ③主要農作物の病害虫発生予察に関すること
- ④国内未発生病害虫に関する植物検疫
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

- ①気象変動に対応したトマトのかん水技術と裂果対策
- ②夏秋ピーマンの省力多収栽培技術の確立
- ③イチゴ育種技術の改善と新品種候補の育成
- ④イチゴの高品質安定生産技術の確立

葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、ニラ、カンショ、サトイモ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給
- ③茶の栽培および病害虫に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

農業研究部（1／2）

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）				
1) 基本施策				
I 構造改革の更なる加速のための技術開発（イノベーション・流通対策）				
・ 施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立 1) 次世代型土壌水分センサーによる小ネギ栽培の「見える化」技術の構築	土壌・環境チーム	北部振興局	H30～R3	県単
・ 革新的な省力栽培技術の開発 1) マルチコプターを活用した白ねぎ等露地野菜の生育診断技術の開発	土壌・環境チーム	(株)KMT	H31～R3	県単
2) 労働力不足に対応した施設葉菜類の安定生産技術の確立	葉根類・茶業チーム	-	H31～R3	県単
3) イモ類の産地拡大に向けた省力化技術の確立	葉根類・茶業チーム	-	H31～R3	県単
II マーケットインの商品（もの）づくりを加速するための技術開発（高品質、低コスト、加工原料生産）				
・ いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及 1) 「ベリーツ（大分6号）」の高品質安定生産技術の確立	果菜類チーム	-	R2～4	県単
・ いちごの県オリジナル品種の育成 1) イチゴ育種技術の改善と新品種候補の育成	果菜類チーム	-	H31～R3	県単
・ 新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発 1) カンショの品種選定	葉根類・茶業チーム	農研機構	長期	県単
・ 市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立 1) 大苗利用による根深ネギの夏越し及び初夏どり作型の生産安定技術の確立	葉根類・茶業チーム	-	H3～R2	県単
・ 農産物の安全安心に関する研究（薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術） 1) 夏秋ピーマンにおける天敵を主体とした害虫防除体系の構築	病害虫対策チーム	中部振興局、豊肥振興局	H30～R2	県単
2) 平坦地に適した根深ネギべと病の防除技術の確立	病害虫対策チーム	北部振興局	H30～R2	県単
3) 県オリジナルイチゴ品種「大分6号」のハダニ類を中心とした主要病害虫の防除体系構築	病害虫対策チーム	地域農業振興課、各振興局	H31～R3	県単
4) 「ベリーツ（大分6号）」における灰色かび病を主体とした防除体系の構築	病害虫対策チーム	各振興局	R2～R3	県単
・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発 1) 拡大するドリンク茶・点茶碾茶需要に対応した茶生産技術の確立	葉根類・茶業チーム	-	R1～3	県単
・ 新資材による低コスト施肥技術の開発 1) 低コストな混合堆肥複合肥料の開発	土壌・環境チーム	㈱菱東肥料、水田農業グループ	R1～3	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発（省力化、大規模化、優良品種）				
・ 果菜類の安定生産技術の開発 1) 気象変動に対応したトマトのかん水技術と裂果対策	果菜類チーム	-	R2～4	県単
・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発 1) 夏秋ピーマンの省力多収栽培技術の確立	果菜類チーム	-	H30～R2	県単
・ 高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発 1) 茶試験圃場の育成	葉根類・茶業チーム	農研機構	長期	県単、一部国庫
・ ウィルスフリー苗の作出 1) イチゴのウィルスフリー苗の育成	果菜類チーム	-	長期	県単
2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根類・茶業チーム	-	長期	県単

2. 試験研究課題

農業研究部（2 / 2）

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
1) 大課題 I 中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）				
2) 研究分野				
I 実用化研究				
・ 委託薬剤試験 1) 安全生産技術に関する研究	病害虫対策チーム	各振興局	長期	県単、一部委託
・ マイナー作物農薬残留調査 1) 農薬残留特殊調査（マイナー作物への登録拡大）	病害虫対策チーム	大分県薬剤師会、豊肥振興局	長期	県単
・ 病害虫発生予察情報（普通作・野菜・果樹・茶） 1) 病害虫発生予察事業 2) チャの主要病害虫防除対策	病害虫対策チーム 葉根菜類・茶業チーム	- -	長期 長期	県単、一部国庫 県単、一部委託
II 基礎調査研究				
・ 農業情報の提供（生育状況、気象データ） 1) 農業情報の提供（気象データ）	企画指導担当	水田農業グループ、果樹グループ、花きグループ	長期	県単
・ 土壌情報の活用 1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境チーム	各振興局	長期	国庫
・ 土壌肥料検査業務 1) 土壌肥料検査業務	土壌・環境チーム	-	長期	県単、一部委託
・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援 1) 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境チーム	-	長期	県単、一部委託
・ 地域固有の動植物の保存 1) 地域固有の動植物の保存	企画指導担当	各振興局	長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
大分県農林水産研究指導センター研究報告 （農業研究部編）第7号	R2.6	5	80
大分県農林水産研究指導センター研究報告 （農業研究部編）第8号	R3.3	38	80
令和2年度植物防疫事業成績書	R3.3.30	74	50
令和元年度農業研究部試験研究成績書	R3.3	436	60

（2）学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
加藤貴浩	ドローンを活用した白ねぎの生育診断技術	施設と園芸	191	74
松本翔太	フルトラニル耐性白絹病菌の発生および簡易検定法の開発	植物防疫	74巻 (5号)	39-42
祖田嘉教	大分県における根深ネギベと病の発生状況と防除対策について	農業新時代	第2号	19-24

（3）研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R2. 9. 17	第83回(令和2年度)九州農業研究発表会	小野紘平、田中とも子、佐藤如、片岡園、野口裕司	イチゴの循環選抜由来育成系統花粉の利用とその可能性の検討
R2. 9. 17	第83回(令和2年度)九州農業研究発表会	佐藤如、小野紘平、池永亜希子	イチゴ「大分6号」の中休み日数に関する要因
R2. 9. 28	第83回(令和2年度)九州農業研究発表会	山野秀真、玉井光秀、大西健二	マニユアスプレッダーを用いた転戸スラッグの散布労力軽減の検討
R2. 9. 28	第83回(令和2年度)九州農業研究発表会	神崎悠梨、香月望	大分県産夏秋トマトの栄養成分の変動実態と要因
R2. 9. 28	第83回(令和2年度)九州農業研究発表会	加藤貴浩、芦刈正公	マルチコプターを活用した白ねぎ等露地野菜の生育診断技術の確立
R2. 9. 28	第83回(令和2年度)九州農業研究発表会	香月望、松本寛子、山野秀真、八坂和也	混同堆肥複合肥料を用いたカンショ栽培の検討
R2. 9. 28	第83回(令和2年度)九州農業研究発表会	藤谷涉、玉井光秀	小ネギ栽培における緩行性肥料を活用した環境負荷の軽減
R3. 1. 20	令和2年度 果樹茶業研究会 茶業研究会	村上圭	有機碾茶安定生産技術
R3. 1. 27	九州沖縄農業試験研究推進会議生産環境推進部会	神崎悠梨	大分県産夏秋トマトのβ-カロテン含量の時期別変化
R3. 2. 2	令和2年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	平将吾	大苗利用による根深ネギの夏越し作型の生産安定技術の確立
R3. 2. 2	令和2年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 野菜成績設計検討会	山賀陽子、池永亜希子、佐藤如、上曾山大	「さがほのか」及び「大分6号」における育苗効率化技術
R3. 2. 2	令和2年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 野菜成績設計検討会	三宅美穂、大塚美希	気象変動に対応したトマトのかん水技術と裂果対策(裂果に強い優良品種の選定)
R3. 2. 2	令和2年度九州沖縄農業試験研究推進会議野菜・花き推進部会 野菜成績設計検討会	大坪亮介、三宅美穂	大苗利用による根深ネギの夏越し作型の生産安定技術の確立
R3. 3. 5	鐵鋼スラッグ協会 肥料WG 2020年度報告会	山野秀真	加工業務用野菜の適用品目の検証

（４）研究成果発表会

該当なし

4. 研究成果の普及、技術指導

（１）講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R2. 5. 12	ドローン操作研修会	豊後大野市	6	豊肥振興局
R2. 7. 2、3	普及指導員専門技術研修	センター	18	地域農業振興課
R2. 7. 3	専門技術研修（土壌）	豊後大野市	15	地域農業振興課
R2. 7. 29	課題解決研修（野菜部門：ドローン分）	豊後大野市	20	地域農業振興課
R2. 7. 31	スマート農業実証事業現地検討会（ドローン分）	豊後大野市	10	地域農業振興課
R2. 7. 31	ベリーツ栽培技術研修会	JA おおい本店	80	県いちご販売強化対策協議会
R2. 8. 5	白ねぎセンシング現地見学会	豊後高田市	8	北部振興局
R2. 8. 21	トビイロウンカ警報記者説明	県庁報道室	12	農研部、地域農業振興課
R2. 9. 24	水田畑地化にかかる土層改良等研修会	宇佐市	15	園芸振興課
R2. 10. 20	日田市スマート農業推進協議会視察研修（ドローン分）	豊後大野市	10	西部振興局
R2. 10. 26	課題解決研修（普通作物）	宇佐市	15	地域農業振興課
R2. 10. 28	課題解決研修（土づくり）	豊後大野市	20	地域農業振興課
R2. 11. 23	有機農業研修会	野津町公民館	23	有機農業研究会
R2. 12. 23	土壌断面調査研修	由布市	3	地域農業振興課
R2. 12. 27	令和2年度豊後大野市新農業者協議会経営研修会	豊後大野市	20	豊後大野市
R3. 1. 24	サツマイモ基腐病対策会議	Web 会議	30	地域農業振興課主催
R3. 1. 12	土壌断面調査研修	津久見市	5	地域農業振興課
R3. 2. 19	若手研究員研修	花きグループ	70	センター本部
R3. 2. 25	北部地区白ねぎスマート農業技術実演会（ドローン分）	豊後高田市	15	北部振興局
R3. 3. 12	課題解決研修（普通作部門：ドローン分）	宇佐市	30	地域農業振興課
R3. 3. 12	作物課題解決研修	水田グループ	12	地域農業振興課
R3. 3. 18	農事研修会（土づくりについて）	ホルトホール	40	大分県肥料商業組合
R3. 3. 18	農事研修会	ホルトホール大分	20	食料集荷組合主催

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
学生	農業大学校	イチゴの硬度調査について	R3. 1～3の間に10回

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	16	100
団体等職員	5	39
普及指導員	20	126
学生	0	0
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	4	22
計	45	287

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
「ベリーツ」に対する IPM 技術の現地移転	ハダニ対策（ミヤコバンカー）等の普及を図る。併せて、他の微小害虫に対する IPM 技術の導入を図る。	現地3圃場においてハダニ、アブラムシ、アザミウマ対策として天敵を導入した防除体系の実証を行った。
夏秋ピーマンにおける天敵を主体とした害虫防除体系の構築	アザミウマ類対策として、スワルスキーカブリダニの定着を図る。また、土着天敵（タバコカスミカメ）やTSWV抵抗性品種の効果を検討する。	現地4圃場で天敵を用いた現地実証を行い、防除暦を作成した。
ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術	生葉分析結果を用いた、ドリンク茶法人における品質適合率の向上を図る。	現地4圃場における生葉の成分分析結果をもとに摘採適期を予測する技術の普及を目標に巡回指導を行った。